

大会スローガン

「感動ある大会にしよう」 挑戦・友愛・自立

監督・競技者注意事項

浜松市中学校体育連盟の申し合わせ事項を厳守すること

特に下記の点を厳守すること（顧問は、指導を徹底すること）

- (1) メインスタンド・芝生席で観戦する場合は、選手の集中力を妨げないように、スタート時は静かにすること。
- (2) メインスタンド応援席・最前列通路に立ったり、手すりから足を投げ出したりしないこと。
- (3) 菓子・ジュース類は一切持参しない。自動販売機の使用も禁止する。
- (4) 弁当、その他のゴミ類はすべて持ち帰ること。
- (5) 競技場および補助競技場への携帯電話の持ち込み、使用を禁止する。
- (6) 本部席前を通行しないこと（横切らないこと）。

1. 本大会は、2026 年度日本陸上競技連盟競技規則及び第 21 回大会要項により運営する。
2. 選手の招集について
 - (1) 招集の受付は本人が行い、時間に遅れた者は棄権とみなし出場を認めないこともある。
 - (2) トラック競技の招集場所は、第 2 コーナー入口（自由広場と競技場の中間点）におき、フィールド競技の招集場所は現地とする。
 - (3) トラック競技は、競技開始 30 分前から招集を開始し、20 分前に終わる。
 - (4) フィールド競技は、競技開始 40 分前から開始し、30 分前に終わる。
ただし、砲丸投と円盤投は 50 分前から 40 分前、棒高跳は 60 分前から 50 分前とする。
 - (5) リレー種目に出場するチームは、オーダー用紙を招集完了時刻の 1 時間前までに招集所に提出すること。
 - (6) リレー種目の招集は第 4 走者が行うこと。
 - (7) 招集所から競技場所へ行くときには競技運営に支障のないように、競技者としての自覚をもち、規律ある行動をとること。
3. 自由広場（補助競技場）について
 - (1) 自由広場の使用については、一般利用客との接触等の事故を防ぐため、以下のことを厳守すること。
 - (ア) ミニハードル・マーカー・スティック等の小さい練習器具は使用可とする。
ただし、使用後は速やかに片付けを行い、置いたままにはしないこと。
 - (イ) ハードル（折りたたみを含む）・メディシンボールを使用した練習は禁止とする。
 - (ウ) ハードルに関しては以下のように直走路（本競技場と自由広場の間）に設置する。
男 110mH 9:20~9:40(2 レーン各 5 台) 女 100mH 9:45~10:05(2 レーン各 5 台)
 - (2) 本競技場の使用について
使用時間は、7:00~8:00 とする。
○本競技場内のレーン使用区分は、原則として次のようにする。（逆走禁止）
 - (ア) 周回 1・2 レーンは、中長距離用とする。
 - (イ) ストレート（ホーム・バック）とコーナーの 3~8 レーンは、短距離（リレーを含む）用とする。
ただし、第 4 コーナーでのリレー練習を禁止とする。
※リレー練習を行う際は、衝突防止のため走る前に周囲の状況確認と声を出して周囲に知らせること。

4. 競技について

(1) トラック競技は次のようにする。

- ① 全種目タイムレース決勝で行う。
- ② 男女 1500m については、大会運営上規定人数以上で実施する。そのため、2 列スタートを採用する。
- ③ 男女 800m は第 2 コーナーまでセパレートレーンで行い、残りをオープンレーンとする。
- ④ 100m・200m は、レース直前のブロック練習は不可とし、ブロック合わせのみとする。
ただし、スタート後方に練習用ブロックを用意する。

(2) トラック競技の判定は、すべて写真判定装置(電気計時 1/100)で行う。

(3) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

(練習、競技開始の高さを設定してあるが、競技者のレベルに応じて当日役員が決める)

① 走高跳(練習)(開始)

男子 1m40 1m45-1m50-1m55-1m60-1m65-1m70-1m75-1m80-1m85 以上 3cm ずつ上げる。

女子 1m25 1m30-1m35-1m40-1m45-1m50-1m55-1m60 以上 3cm ずつ上げる。

② 棒高跳(練習) 2m70、3m50、4m00(開始) 2m60-2m80-3m00-3m20-3m40 以上 10cm ずつ上げる。

(4) 同成績の場合のバーの上げ方(1 位を決定する場合のみ実施し、2 位以下は同順位)

① 走高跳 2cm ずつ上下する。

② 棒高跳 5cm ずつ上下する。

(5) フィールド競技の計測ライン(競技運営上 2 本目より実施)

① 走幅跳 男子 5m00 女子 4m30

② 砲丸投 男子 8m00 女子 8m00

③ 円盤投 男子 17m00 女子 15m00

(計測ラインを設定してあるが、競技者のレベルに応じて当日役員が決める)

(6) 走幅跳、砲丸投、円盤投の試技は 3 本とする。

(7) 砲丸投、円盤投は下記の重量で実施する。

砲丸投 男子 5.0kg ・ 女子 2.721kg 円盤投 男子 1.5kg ・ 女子 1.0kg

(8) スタートについては、不正スタート 1 回目から失格とする。

(9) 靴底厚は 20mm 以内を使用すること。

(10) 胸背部にアスリートビブスをつけて出場する。(ただし、走高跳、棒高跳、走幅跳はこの限りではない。)

(11) スパイクの針は、トラック 9mm 以下、走高跳は 12mm 以下とする。

(12) スターティングブロックとバトン競技場のものを使用する。

5. 得点

1 位＝8 点 2 位＝7 点 3 位＝6 点 4 位＝5 点 5 位＝4 点 6 位＝3 点 7 位＝2 点 8 位＝1 点

6. 表彰

(1) 学校対抗 男女別優勝校＝優勝杯 男女別 1～8 位＝賞状

男女優勝校＝優勝杯 男女 1～8 位＝賞状

[優勝校に表彰を行う。優勝校の代表者 2 名は本部に集合すること]

① 各種目の総合得点で学校対抗順位を競う。

② 同点の場合は、上位入賞の多い学校を上位とする。

③ 地域スポーツ団体は学校対抗には含めない。

(2) 個人 1～8 位賞状 [大会運営上、表彰は行わない。顧問が本部に取りにくること]

7. その他

(1) リレーと他の競技に出場する選手、または 2 種目兼ねて出場する選手で競技時間が重なるときは、招集所で役員に必ず連絡をする。

(2) 選手への付き添いや応援のためにフィールド内に入ることを認めない。

(3) 競技場内の更衣室は使用しないこと。